

## 和光病院の地域活動

「地域を支え、地域に支えられる病院」を目指して

医療法人社団  
翠会 和光病院

医療福祉相談室長 くりはら ますみ 栗原 眞須美

和光病院の地域活動のひとつ「和光病院公開講座」を去る9月16日(水)に開催しました。今回はより多くの方に参加していただけるよう、サンアゼリア小ホールをお借りして、齋藤正彦院長が「認知症の理解とケア」というテーマで講演を行いました。

当日は天気にも恵まれ、予想を上回る206名の方がご来場くださり、盛会となりました。齋藤院長が認知症とはどんな病気か?治療はどのようなものか?どう接すると良いのか?認知症になっても自分らしい生活を守るためには?等々、日常の診療や研究・体験の中から解かり易くお話し、参加者の方々も熱心に耳を傾けておられ、時には笑い声も湧く和やかな雰囲気での講演会となりました。広報やポスター掲示など、ご協力を賜りました皆様には心より感謝申し上げます。

病院職員も認知症に対する皆様の関心の高さを実感し、認知症専門病院としての和光病院の役割をあらためて考える有意義な時間となりました。今後の診療活動に活かしていきたいと思えます。

この講座は地域・一般市民の皆様に関心を持っていただき、患者さんやご家族が少しでも暮らしやすくなり、また一般市民の方はご自身の健康について考える機会を創り、年をとっても、病気や障がいをもって安心して暮らせる地域づくりに多少でも貢献できればと始めたものです。

年1回の企画ですが、今回3回目となり参加者数もしだいに増え、ご協力いただいたアンケートでは、患者さん・ご家族や医療・介護・保健福祉関係者以外の一般市民の方の参加者数が35%を超え、年代も20歳代から80歳代まで幅広く大勢の方々に興味関心を持っていただけたことは、大変喜ばしいことでした。

また、「気持ちや考えの整理ができて、楽になった。」「リラックスし楽しく話が聞けてもっと知りたいと思った」「次も楽しみにしています」などのご意見・感想もたくさん頂戴いたしました。

院長はじめ職員一同、これからも「地域を支え、地域に支えられる病院」を目指し、一步一步ではありますが、努力を重ねて参りたいと思っております。次回の講座も是非、お気軽にご参加ください。

